

はじめに

富山県においては、「優れた知性」「豊かな心」「たくましい体」を富山県教育の基本目標に掲げ、児童生徒が学校教育を通じ、友人と切磋琢磨する中で豊かな人間性と個性や能力を伸ばし、将来にわたってたくましく生きる力を身に付けること、また、一人一人の目的やニーズ、社会の新たな課題に応じた学習や文化・スポーツ活動に親しむことを目指しています。

また、平成25年度に策定された「富山県教育振興基本計画」においても、本県教育の目指すべき方向性としての基本施策が確認されたところであり、幼児児童生徒の教育に直接携わる教員一人一人が、豊かな人間性、広い社会性、高い専門性と指導力等の資質・能力を身に付けていく必要があります。常に課題意識をもって積極的に研修に励み、自己の資質能力を向上させることが不可欠です。

このため、県教育委員会では、一人一人のキャリアステージに応じた多様な研修を実施しているところです。特に、教員の大量退職、大量採用により若手教員が増加している現状において、教育理念や指導技術を継承していくためには、継続的・計画的な研修の必要があるため、平成26年度から、1～3年次の教員を対象とした「若手教員研修」を導入したところです。この研修は、3年間の継続した研修を通して、教員としての自覚や使命感を高めるとともに、実践的指導力や問題解決力・対応力の向上を図ることをねらいとしており、教員としての資質・能力の基盤を築く大切な研修です。

県教育委員会では、若手教員研修等の充実、校内研修の支援を期して、日々の教育実践の中での疑問や悩みに対して手がかりとなる具体的な指針や方向性を示すため、毎年「教員研修ハンドブック」を刊行しています。

本書を有効に活用して研鑽を積まれ、幼児児童生徒や保護者の信頼に応えるよき教育者としての資質を磨いていかれることを期待しています。

平成27年3月

富山県教育委員会

小中学校課長

県立学校課長